

超臨界流体部会 令和4年度第4回役員会・第45回部会集会 資料

(役員会)

日時：令和5年3月15日(水) 12:00～13:00

場所：東京農工大学小金井キャンパス E会場
(学会 GOING VIRTUAL システム併用)

(部会集会)

日時：令和5年3月15日(水) 19:00～21:00

場所：吉祥寺東急 REI ホテル

報告事項

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1. NEWS LETTER No.35 に関する報告 | 資料 1 |
| 2. 2022 年度基礎セミナーの報告 | 資料 2 |
| 3. 化学工学会第 88 年会について | 資料 3 |
| 4. 2023 年度(令和 5 年度)化学工学年鑑について | 資料 4 |
| 5. 会員数・会員異動について | 資料 5 |
| 6. 共催, 協賛事業, 関連国際学会について | 資料 6 |
| 7. 令和 4 年度決算および令和 5 年度予算案(本部提出)について | 資料 7 |
| 8. 部会 HP について | 資料 8 |
| 9. その他 | |

審議事項

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1. 次期役員(部会長, 副部会長, 各分科会正代表者)について | 資料 9 |
| 2. 令和 5 年度部会幹事・委員について | 資料 10 |
| 3. 令和 5 年度活動計画(本部に提出した内容)について | 資料 11 |
| 4. その他 | |

青字は、役員会での指摘を受けて追記した箇所

報告事項

資料1 NEWS LETTER No.35 に関する報告

担当：織田 耕彦（東京工業大学），宇敷 育男（広島大学）

発行：令和4年12月12日（電子メールで送付）

部数：351

内容：A4, 9 ページ

- ・ 巻頭言 内田副部長
- ・ 第21回サマースクール報告 岡島分科会代表
- ・ 国際会議報告：ISSF2022 筈居分科会代表
- ・ 第53回秋季大会「超臨界流体部会シンポジウム」報告 川尻分科会代表
学生賞受賞者の発表内容の概要紹介
- ・ 編集後記
- ・ 行事予定

資料2 2022年度基礎セミナーの報告

「超臨界CO₂ および亜臨界水・超臨界水の基礎と応用技術」

日時：2022年11月28日(月) 9:00～17:30

29日(火) 9:30～17:00

場所：東北大学東京分室会議室（オンサイト），Zoom Cloud Meetings（オンライン）

参加人数：83名（うち講師22名，学生25名）

講師以外の内訳

	部会員・協賛会員	非部会員	部会学生会員	部会未加入学生	計
2日間とも	22名	5名	14名	3名	44名
初日のみ	4名	2名	-	-	6名
2日めのみ	3名	-	3名	5名	11名

- 11月28日(月) - 超臨界CO₂の基礎と応用技術

- [基調講演] 「超臨界流体技術の概論－歴史と今後の展望－」 (金沢大学) 内田 博久
- [基礎講座] 「超臨界CO₂系の状態・物性・相平衡」 (東北大学) 猪股 宏
- 「超臨界CO₂系の相平衡の測定と計算技術」 (広島大学) 滝脇 繁樹・宇敷 育男
- 「超臨界CO₂系に関する基本操作と装置」 (東北工業大学) 佐藤 善之
- [応用講座] 「超臨界CO₂プロセスの工業利用」 (神鋼エアーテック(株)) 山形 昌弘
- 「超臨界CO₂を用いた天然物抽出」 (名古屋大学) 後藤 元信
- 「超臨界CO₂利用した晶析による材料創製技術」 (金沢大学) 内田 博久
- 「超臨界CO₂を利用した機能性材料創製」 (東京工業大学) 下山 裕介
- 「超臨界CO₂染色」 (福井大学) 廣垣 和正

「超臨界 CO ₂ を利用した反応 I」	(産業技術総合研究所)	川波 肇
「超臨界 CO ₂ を利用した反応 II」	(岩手大学)	白井 誠之
「超臨界 CO ₂ クロマトグラフィー」	(九州大学)	馬場 健史

- 11月29日(火) - 亜臨界水・超臨界水の基礎と応用技術

[基礎講座]	「亜臨界水・超臨界水系の状態・物性・相平衡」	(東北大学)	渡邊 賢
	「亜臨界水・超臨界水系の反応」	(東京大学)	秋月 信
	「亜臨界水・超臨界水系に関する基本操作と装置」	((株)東洋高圧)	野口 琢史
[応用講座]	「亜臨界水・超臨界水プロセスの工業利用」	((株)竹中工務店)	川尻 聡
	「亜臨界水・超臨界水を利用した材料創製技術」	(信州大学)	長田 光正
	「亜臨界水・超臨界水を利用した機能性材料創製」	(東北大学)	筈居 高明
	「亜臨界水・超臨界水中でのバイオマス変換」	(熊本大学)	佐々木 満
	「亜臨界水・超臨界水を用いた抽出」	(宇都宮大学)	佐藤 剛史
	「亜臨界水・超臨界水を利用したエネルギー変換」	(広島大学)	松村 幸彦
	「水熱技術による食品素材の変換」	(東北大学)	藤井 智幸

セミナーの申し込みにさいして、入会者(個人賛助会員6人, 部会法人会員1社)があった。

資料3 化学工学会第88年会について

東京農工大学 小金井キャンパス

超臨界流体部会	一般講演	E会場/オンライン	3月16日 13:00~17:20
	ポスター	P会場	3月17日 9:20~11:20
	表彰式	Y会場	3月17日 17:20~17:45

[注目講演] 金属酸化物超微細ナノ粒子の連続水熱合成法開発

(東北大 AIMR)○(正)横 哲・(東北大院工)(学・修習)千葉 信孝・尾村 悠希・

(東北大 NiChe)(正)成 基明・(東北大 IMRAM)(正)筈居 高明・(東北大 AIMR)(正)阿尻 雅文

資料4 2023年度(令和5年度)化学工学年鑑について(とりまとめ エネルギー 分科会)

年鑑とりまとめ委員 静岡大学工学部 岡島 いづみ

執筆者

1. 超臨界流体全般 静岡大学工学部 岡島 いづみ
2. 基礎物性 東北大学大学院工学研究科 平賀 佑也
3. 材料・合成 信州大学繊維学部 長田 光正
- 4.1 バイオマス・天然化合物(抽出・分離) 熊本大学大学教育統括管理運営機構 Quitain Armando T.

4.2 バイオマス・天然化合物（反応）

株式会社竹中工務店 川尻 聡

5. エネルギー

名古屋大学環境安全衛生推進本部 林 瑠美子

資料5 会員数・会員異動について（令和4年9月から令和5年2月まで）

会員数 327名

会員
内訳

名誉会員 4名

部会法人会員 4社7名

部会個人会員 213名

法人賛助会員 1社3名

個人賛助会員 17名

学生会員 83名

入会 32名および1社

種別	氏名	所属	入会月
学生	山田 真由	東京工業大学	2022.9
学生	佐藤 伸哉	東京工業大学	2022.9
学生	造酒 航	東京工業大学	2022.9
学生	田 知佳	東京工業大学	2022.9
学生	池田 開	東京工業大学	2022.9
個人	高畑 拓弥	東西化学産業株式会社	2022.10
学生	尾村 悠希	凸版印刷株式会社	2022.10
学生	李 菲	東京大学	2022.10
学生	徐 思琪	東京大学	2022.10
学生	堂脇 大志	東京大学	2022.10
個人	外野 圭太	株式会社竹中工務店	2022.10
学生	上平 匠真	八戸工業高等専門学校	2022.11
学生	石田 有沙	金沢大学	2022.11
学生	吉澤 希紗羅	金沢大学	2022.11
学生	青山 海郎	宇都宮大学	2022.11
学生	中嶋 佑介	東京大学	2022.11
学生	柴田 皐翔	東京工業大学	2022.12
学生	和田 佳丈	静岡大学	2022.12
学生	服部 莉子	静岡大学	2022.12
学生	土橋 理功	静岡大学	2022.12
学生	PUPROMPAN PURIN	東京工業大学	2022.12
学生	長濱 遥香	東京工業大学	2022.12
個人	飯塚 和広		2023.1
個人	鳥井 昭吾	株式会社アルビオン	2023.1
個人	スミス リチャード	東北大学	2023.1
個人	齋藤 浩一	伊勢化学工業株式会社	2023.2

個人	野村	舜	積水バイオリファイナリー株式会社	2023. 2
個人	齋藤	真理	株式会社スーパーナノデザイン	2022. 9
個人	中西	亮	株式会社スーパーナノデザイン	2022. 10
法人	株式会社トクヤマ			2022. 10
個人	坂本	成隆	廣瀬製紙株式会社	2022. 10
個人	山崎	拓矢	株式会社スーパーナノデザイン	2022. 11
個人	嵯峨根	敏生	株式会社日本触媒	2022. 11

退会	35 名			
種別	氏名		所属	退会月
個人	久保	英明	花王株式会社	2022. 9
個人	杉山	佳久	本田技研工業株式会社	2022. 9
学生	森	健登	静岡大学	2022. 9
学生	王	咏旭	東京大学	2022. 11
個人	越智	健二	日本大学	2022. 11
学生	金子	滉	東京工業大学	2022. 12
学生	八嶋	なな子	福岡大学	2022. 12
学生	江間	好花	福岡大学	2022. 12
学生	藤井	美月	静岡大学	2022. 12
学生	赤川	颯志	広島大学	2022. 12
個人	天羽	隆太		2023. 1
学生	坂場	元紀	日本大学	2023. 1
学生	千葉	信孝	東北大学	2023. 1
学生	栗原	歩大	東北大学	2023. 1
学生	浅尾	優太	福岡大学	2023. 1
学生	谷越	陽	東京工業大学	2023. 1
学生	椿	香月	中央大学	2023. 1
個人	松浦	智	日本ゴア合同会社	2023. 1
個人	乾	昭文	国土舘大学	2023. 1
個人	相野	恵介	NS スチレンモノマー株式会社	2023. 2
個人	坂部	淳一	金沢大学	2023. 2
個人	渡邊	航平		2023. 2
学生	遠藤	純	中央大学	2023. 2
個人	石川	斉	日本大学	2023. 2
個人	弘中	瑞樹	広島大学	2023. 2
学生	SHAMALA	BALASUBRAMANTAM	熊本大学	2023. 2
個人	高田	洋明	熊本大学	2023. 2
個人	島田	綾子	東京大学	2023. 2
個人	吉井	慎平	東京都市大学	2023. 2
学生	趙	篠茜	名古屋大学	2023. 2

学生	玉置	優太	福岡大学	2023. 2
学生	米重	佑貴	九州大学	2023. 2
学生	村上	大悟	熊本大学	2023. 2
個人	服部	秀雄	フロムシード株式会社	2023. 2
個人	藤江	誠	株式会社東芝	2023. 2

資料 6 共催, 協賛事業, 関連国際学会について

【協賛】第 56 回化学工学の進歩講習会「脱炭素社会に向けて進化するリサイクル技術の現在と未来」
(主催: 化学工学会東海支部)

2022 年 11 月 17 日-18 日 (IMY ビル@名古屋市およびオンライン, Zoom ミーティング)

【協賛】先端技術を支える単位操作シリーズ「超臨界プロセスの最前線」(主催: 化学工学会関西支部)
2022 年 12 月 9 日 (大阪科学技術センター@大阪市)

【協賛: 2022 年 9 月 24 日依頼】分離技術会年会 2022 (主催: 分離技術会)

2022 年 11 月 17 日-18 日 (オンライン, Zoom ミーティング)

セッションおよび企画 (氏名はオーガナイザー)

S1 相平衡・物性・分析技術	古屋 武 (産業技術総合研究所)
S2 蒸留・ガス吸収・シミュレーション	山木 雄大 (産業技術総合研究所)
S3 吸着	清田 佳美 (東洋大学)
S4 抽出・超臨界抽出	大田 昌樹 (東北大学)
S5 晶析	三上 貴司 (新潟大学)
S6 流体固体分離	森 隆昌 (法政大学)
S7 膜分離・膜全般	野村 幹弘 (芝浦工業大学)
S8 バイオ・材料・プロセス化学	武藤 明德 (大阪公立大学)

【関連国際学会】SuperGreen2022, the 12th International Conference on Supercritical Fluids
(Organizers: Asian Society of Supercritical Fluids, Taiwan Supercritical Fluids Association, National Taipei University of Technology, National Science and Technology Council)

2022 年 10 月 24 日-29 日 @ Taipei, Taiwan

【関連国際学会】the 19th European Meeting on Supercritical Fluids (EMSF)

(Organizer: the International Society for the Advancement of Supercritical Fluids)

2023 年 5 月 21 日-24 日 @ Budapest, Hungary

Call for abstract is still open for posters only. Deadline March 31, 2023.

【関連国際学会】the 16th International Conference on Properties and Phase Equilibria for Product and Process Design (PPEPPD2023)

(Organizers: Khalifa University, Texas A&M University at Qatar, Universitat Rovira I Virgili)

2023年5月21日-25日 @ La Pineda, Costa Dorada, Tarragona, Spain

【共催】化学工学会秋季大会 部会横断型シンポジウム（基礎物性部会と共催）

内容（案）：van der Waals 式 150 周年を祝したミニ国際シンポジウム

海外招待講演者：Prof. Cornelis J. Peters（Colorado School of Mines）

Prof. Jean-Noël Jaubert（Université de Lorraine）

他にも、海外・国内から招待講演を企画中

【関連国際学会】the 12th International Conference on Separation Science and Technology (ICSST23)

(Organizers: The Society of Separation Process Engineers, Japan and the Division of Separation Technology Korean Institute of Chemical Engineers)

2023年11月15日-17日 @ Okinawa Shichoson Jichi Kaikan, Naha, Okinawa, Japan

【関連国際学会】the 10th International Conference on Engineering for Waste and Biomass Valorisation (WasteEng2024) 2024年8月19日-22日 @ Kawauchi Campus, Tohoku University, Sendai, Japan

資料7 令和4年度決算および令和5年度予算案(本部提出)について

貸借対照表

令和5年2月28日現在

公益社団法人 化学工学会

超臨界・流体

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,214,731	2,852,983	361,748
流動資産合計	3,214,731	2,852,983	361,748
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
国際的超臨界活動推進基金	2,902,191	3,969,158	△ 1,066,967
特定資産合計	2,902,191	3,969,158	△ 1,066,967
固定資産合計	2,902,191	3,969,158	△ 1,066,967
資産合計	6,116,922	6,822,141	△ 705,219
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	6,116,922	6,822,141	△ 705,219
一般正味財産合計	6,116,922	6,822,141	△ 705,219
(うち特定資産への充当額)	2,902,191	3,969,158	△ 1,066,967
正味財産合計	6,116,922	6,822,141	△ 705,219
負債及び正味財産合計	6,116,922	6,822,141	△ 705,219

超臨界・流体 CREST-PC

令和5年3月6日 10:32:16

正味財産増減計算書および貸借対照表を監査し、適切と認めます。

部会監事

令和5年 3月8日

中村 真



令和5年 3月9日

橘 俊 吾



正味財産増減計算書

令和 4年 3月 1日から令和 5年 2月28日まで

公益社団法人 化学工学会
超臨界・流体

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	13	38	△ 25
特定資産受取利	13	38	△ 25
受取会費	176,000	0	176,000
部会会員受取会費	176,000	0	176,000
部会個人会員会費	36,000	0	36,000
部会法人会員会費	140,000	0	140,000
事業収益	1,112,000	278,747	833,253
学術育成事業	1,112,000	278,747	833,253
学術集会、研究発表事業	0	275,747	△ 275,747
人材育成講習会事業収益	1,112,000	3,000	1,109,000
雑収益	4,814	19	4,795
受取利息	36	19	17
雑収益	4,778	0	4,778
雑収入	4,778	0	4,778
経常収益計	1,292,827	278,804	1,014,023
(2) 経常費用			
事業費	2,381,765	644,343	1,737,422
運営費	537,390	0	537,390
旅費交通費	796,194	0	796,194
施設利用料	393,900	0	393,900
通信運搬費	9,071	0	9,071
消耗品費	0	100,000	△ 100,000
印刷製本費	38,460	0	38,460
諸謝金	514,110	241,603	272,507
支払負担金	60,000	0	60,000
雑費	32,640	302,740	△ 270,100
管理費	34,781	20,870	13,911
通信運搬費	8,391	12,100	△ 3,709
雑費	26,390	8,770	17,620
経常費用計	2,416,546	665,213	1,751,333
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,123,719	△ 386,409	△ 737,310
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,123,719	△ 386,409	△ 737,310
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	418,500	289,000	129,500
当期一般正味財産増減額	△ 705,219	△ 97,409	△ 607,810
一般正味財産期首残高	6,822,141	6,919,550	△ 97,409
一般正味財産期末残高	6,116,922	6,822,141	△ 705,219
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	6,116,922	6,822,141	△ 705,219

超臨界・流体 CREST-PC

収支予算書

令和 5年 3月 1日から令和 6年 2月28日まで

公益社団法人 化学工学会
超臨界・流体

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[220,000]	[220,000]	[0]
部会会員受取会費	(220,000)	(220,000)	(0)
部会個人会員会費	30,000	30,000	0
部会法人会員会費	190,000	190,000	0
事業収益	[750,000]	[1,190,000]	[△ 440,000]
学術育成事業	(750,000)	(1,190,000)	(△ 440,000)
学術集会、研究発表事業	750,000	1,190,000	△ 440,000
雑収益	[10,300]	[11,000]	[△ 700]
受取利息	300	1,000	△ 700
雑収益	(10,000)	(10,000)	(0)
雑収入	10,000	10,000	0
経常収益計	980,300	1,421,000	△ 440,700
(2) 経常費用			
事業費	[1,260,000]	[1,250,000]	[10,000]
旅費交通費	500,000	0	500,000
施設利用料	300,000	100,000	200,000
通信運搬費	0	20,000	△ 20,000
諸謝金	200,000	200,000	0
雑費	260,000	930,000	△ 670,000
管理費	[290,000]	[447,000]	[△ 157,000]
会議費	(0)	(50,000)	(△ 50,000)
会議費	0	50,000	△ 50,000
旅費交通費	100,000	100,000	0
施設利用料	50,000	0	50,000
通信運搬費	120,000	150,000	△ 30,000
消耗品費	0	20,000	△ 20,000
印刷製本費	20,000	20,000	0
諸謝金	0	50,000	△ 50,000
複写費	0	10,000	△ 10,000
雑費	0	47,000	△ 47,000
経常費用計	1,550,000	1,697,000	△ 147,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 569,700	△ 276,000	△ 293,700
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 569,700	△ 276,000	△ 293,700
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	[367,000]	[390,000]	[△ 23,000]
当期一般正味財産増減額	△ 202,700	114,000	△ 316,700
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 202,700	114,000	△ 316,700
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	△ 202,700	114,000	△ 316,700

表 各支部・部会別 特定費用準備資金計画(令和2年/2020年版)

超臨界流体部会

特定費用準備資金の名称	積立て 限度額	積立額														取崩し額	残額 確認	当該の活動の内容	積立て限度額の算定方法
		令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和	令和				
例 人材育成	8,000	6,000	1,000	1,000			800	800	800	800	800	800	800	800	800	0	産業技術の基盤となる化学工学の基礎を教授するセミナーであり、日本の産業界の担い手である人材を育成することを目的とする。	セミナー開催 会場費500千円×10年 講師費用50千円×4人×10年 運営会議費用100千円×10年	
例 国際交流基金	3,000	3,000				0	0	0	0	0	0	300	2,700	0	0	0	化学工学の*領域に関する情報交換と研究成果発表をアジア各国と定期的に関係し、最新情報の収集と発信を行う。	運営会議 300千円 会場費 2,000千円 冊子等作成費 700千円	
国際的超臨界活動推進基金	5,500	4,500		500		500	2,000	0	500	1,000	0	500	1,000	500	0	0	0	化学工学の超臨界流体に関する研究・技術開発に関して最新の情報交換を国際会議・シンポジウムの開催・参加により推進する。	国際会議主催・共催 3,000千円 国際会議協賛 1,000千円 若手会員による交流推進 1,500千円
																0			
																0			
																0			
																0			

資料 8 部会 HP について

担当：小野 巧(産総研)，町田 洋(名古屋大学)

- ・部会 HP の URL 変更 (2022 年 12 月)

旧 URL : <http://www2.scej.org/scfddiv//>

新 URL : <https://scej-scf.org/>

審議事項

資料 9 次期役員(部会長, 副部会長, 各分科会正代表者)について

部会長: 内田 博久(金沢大学)

副部会長:

副部会長:

各分科会正代表者

材料・合成分科会 :

基礎物性分科会 :

エネルギー分科会 :

バイオマス・天然化合物分科会 :

資料 10 令和 5 年度部会幹事・委員について

・部会長 内田 博久(金沢大学)

・副部会長 ,

・監事 ,

・相談役 ,

・幹事

庶務 : (総務) (会計)

材料・合成分科会 正代表者 :

副代表者 : , ,

基礎物性分科会 正代表者 :

副代表者 : , ,

エネルギー分科会 正代表者 :

副代表者 : , ,

バイオマス・天然化合物分科会

正代表者 :

副代表者 : ,

研究プロジェクト 主幹 :

補佐 : ,

部会連携 :

海外会員サポート :

・部会ニュースレター編集委員 : 織田 耕彦(東京工業大学), 村上 裕哉(東京理科大)

・部会 HP 担当 : 小野 巧(産総研) ,

・「化学工学」編集委員※ : 秋月 信(東京大学)

・「化学工学」TOPICS 委員※ : 吉井 孝彰(サントリーホールディングス),
中安 祐太(東北大学)

・「化学工学論文集」編集委員※： 笈居 高明(東北大学)

(※は、すでに本部に連絡済み)

資料 11 令和 5 年度活動計画(本部に提出した内容)について

(赤字は、本部提出以降に追加したもの)

1. 国際関連事業

関連国際シンポジウムなどへの協賛

the 19th European Meeting on Supercritical Fluids (EMSF)

2023 年 5 月 21-24 日 @ Budapest, Hungary

the 16th International Conference on Properties and Phase Equilibria for Product and Process Design (PPEPPD2023)

2023 年 5 月 21 日-25 日 @ La Pineda, Costa Dorada, Tarragona, Spain

the 12th International Conference on Separation Science and Technology (ICSST23)

2023 年 11 月 15 日-17 日 @ Okinawa Shichoson Jichi Kaikan, Naha, Okinawa, Japan

2. シンポジウム・講演会などの行事

超臨界流体部会第 22 回サマースクール： 9 月頃

3. 本部大会・支部行事関連行事

第 54 回秋季大会

超臨界流体部会シンポジウムの開催： 9 月

部会横断型シンポジウム (CVD 反応分科会) との共催： 9 月

部会横断型シンポジウム (基礎物性部会) との共催： 9 月

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

超臨界流体・基礎セミナーの開催： 2023 年秋

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

年鑑の担当・執筆，編集委員会への参加，Topic 投稿

化学工学年鑑 2023 化学工学会： 10 月

部会設立 20 周年記念書籍 (2022 年度基礎セミナー講演内容) の出版

6. 受託事業の推進

プロジェクト研究の企画検討 (チーム編成)

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

ニュースレターの発行（年2～3回）

SCF NEWSLETTER No. 36： 7月，メール配信

SCF NEWSLETTER No. 37： 12月，メール配信

8. 特記事項

超臨界流体部会 第1回役員会： 3月（年会初日・オンサイトおよびオンライン）

超臨界流体部会 第2回役員会： 9月（秋季大会初日・オンサイトおよびオンライン）

部会行事の担当予定表（各年度は，3月1日から翌年2月末日まで）

	年会ポスター	化学工学年鑑	サマースクール	秋季大会
令和5年度 (2023年度)	バイオマス・ 天然化合物	エネルギー	材料・合成	基礎物性
令和6年度 (2024年度)	基礎物性	材料・合成	バイオマス・ 天然化合物	エネルギー
令和7年度 (2025年度)	エネルギー	バイオマス・ 天然化合物	基礎物性	材料・合成
令和8年度 (2026年度)	材料・合成	基礎物性	エネルギー	バイオマス・ 天然化合物

その他

超臨界流体部会 HP の今後の対応

【関連国際学会】 [the 10th International Conference on Engineering for Waste and Biomass Valorisation \(WasteEng2024\)](#) 2024年8月19日-22日 @ Kawauchi Campus, Tohoku University, Sendai, Japan

Plenary speakers

[Prof. Daniel Nocera, Harvard University, USA](#)

[Prof. Carol S. K. Lin, City University of Hong Kong, Hong Kong](#)

[Prof. Magdalena Titirici, Imperial College of London, UK](#)

[Prof. Gaurav Sant, UCLA, USA](#)

[Prof. Toshiaki Yoshioka, Tohoku University, Japan](#)

[Prof. Chiharu Tokoro, Waseda University, Japan](#)

Conference chairs

Prof. Ange Nzihou (IMT Mines Albi, CNRS, France)

Prof. Junya Kano (Tohoku University, Japan)

Prof. Toshiaki Yoshioka (Tohoku University, Japan)